

情シ争ギテ有利ニ展開セムベク努メツ、アリ。

標記爭議其ノ後ノ經過左記ノ通りニ有之

一、交渉經過

既報後引統キ調停課ニ於テ勞資代表ヲ交互ニ招致シ妥協斡旋ニ努メツ、アルモ会社側カ依然爭議首腦部七名及既報高輪署ニ檢舉セル暴行嫌疑者二名（別項記載ノ通り暴行者ハ應援團員一名ト判明ス）計九名ノ解雇ヲ主張スルニ對シ爭議團側ニ於テモ暴行嫌疑者二名ノ解雇ヲ承認スルモ、絕對ニ他ノ解雇ヲ認メズトノ強硬態度ヲ固持シツ、アル為メ交渉停頓ノ状態ニ在リ

二、會社側ノ態度

會社側ニ在リテハ前記ノ通り九名ノ解雇ヲ強硬ニ主張スルト共ニ爭議團側ヨリノ切崩シヲ警戒シ爭議不参加工中ノ希望者約四十名ヲ工場内ニ宿泊セシメツ、アルモ其ノ後爭議團側ガ職工出勤阻止ノ舉ニ出テハル為自動車ニ依ル職工ノ輸送ハ本月八日朝ヨリ中止セリ。

三、組合並爭議團側ノ態度

(1) 爭議團ハ罷業決行當時ハ約七十名爭議團本部ニ集合シツ、アリタルモ、會社側ノ切崩ニ過ヒ漸次脱退者出テ現在爭議團本部ニ集合スルモノハ約四十名ニ減少セルモ之等ハ相当結束固ク飽ク迫組合ノ指導下ニ會社ニ對抗スハレトノ強硬態度ヲ持シツ、アリ

(2) 爭議團交渉委員中ノ水谷弥一郎及坂田秀三ノ兩名ハ無断ニテ爭議團ヲ脱シ客月二十四日ヨリ所在不明タルガ其